

アガペワールド



London
Keiko C Holmes
35 Leyburn Gardens
CR0 5NL London
E: agape.kingdom@gmail.com
Tel: +44(0)20 8686-4263
www.agapeworld.org

日本
小菅啓子
横浜市南区中村町5-308-12
E: victory8068@gmail.com
Tel: 090-1266-3390
www.agapeworldjp.org

アガペワールドを支えてくださる皆様、寒くなりましたがお変わりございませんか。日本では雪が降ったと聞きました。ロンドンでは今年は稀に見る暖冬だそうです。日中は手袋なしでも歩けます。我が家の庭にも霜がありますが、数種の野菜は元気です。ロンドンの中心地ではクリスマスの飾り付けの豪華なイルミネーションが夜空に輝いています。クリスマスは日本の正月のようです。離れていた家族が数日、あるいは1、2週間、実家に戻り、クリスチャンの家庭ではイエス・キリストに感謝のお祝いをします。この季節には教会の行事も多く、賛美歌が街に流れます。

私の教会HTBでは年間、週に何度かホームレスの人たちに食事と宿泊を与えています。クリスマスに街角に寝ている人たちを見るのは心が痛みます。もっと、もっと多くの教会が彼らに愛の手を差し伸べて欲しいと思います。

クリスマスには赤と緑が使われますが、赤はイエス様が人類の罪を贖うために流された美しい血の色です。緑はよみがえられたイエス様の命の躍動する緑です。私たちがイエス様にとって、死んでも蘇るのです。イエス様の私たちへのパッションを表す赤と平和な命の緑を私たちが心に宿し、新しい人生を歩みたいですね。素晴らしいクリスマスと喜びに満ちた2017年をお迎えください。

神様の不思議なお働き

堀ノ内 菊三郎・多美子

私たち一家6人は1980年に、日本からイギリスのケンブリッジ郊外の小さな田舎町に引っ越しに来ました。3年後の5月に菊三郎、6月に多美子が、その町の単立バプテスト教会で洗礼を受け神様の子供としていただくことは感謝です。

翌年1984年ケンブリッジ市内で語学留学生や研究者及びそのご家族のために日本語の聖書の学び会（ケンブリッジJCF集会）が始まるということで、帰日一ヶ月前の佐々木先生に声を掛けられ出席することになりました。ロンドンJCFの協力を得て盛永先生が月一回、片伯部伝道師が月三回の土曜日に来て聖書の学びをリードして下さるようになりました。たくさんの日本人の方々が、この集会



を通して福音を聞き、救われる方々も起こされたのは大きな恵みでした。2004年まで私たちがこの集会の鍵番をさせていただいたこと感謝なことでした。

自宅に近い会社で働いていた菊三郎がロンドンに転職し、恵子と会う機会が与えられました。恵子から彼女に神様が与えられた「愛のメッセンジャー」としての仕事を知るととても感動したことを覚えています。しかしそれがイルカボーイズとなり、アガペワールドと発展していくとは夢にも思いませんでした。

そして、私達が救われ洗礼を受けた教会に、ある日ジェフさんと奥様のディーさんが副牧師夫婦として赴任して来られました。神様の大きな働きで、私たちはディーさんが、赤ちゃんの時から第二次世界大戦中香港で日本軍の民間人抑留者であったことを知りました。

その後2004年に、ジェフさんとディーさんが

日本へ、アガペ和解の旅に行かれることになりました。菊三郎の仕事で私たちは丁度2004年から日本に住むことになったので、日本でお二人をお迎えすることができたことを主に本当に感謝しています。和解の旅でディーさんはたくさんの日本人々と出会い、主がアガペワールドを通してディーさんを癒してくださったことを感謝します。

私たちは2011年秋に英国に帰ってきましたが、私たちに与えられたロンドン近郊の家は、ジェフさんディーさんの家から車で5分、恵子さんの家

は車で20分位のところでした。これは私たちもジェフさんディーさんたちも、娘の近くに引っ越してきた結果でした。そして今、ジェフさんがアガペワールドの理事議長、ディーさんも私たち夫婦も理事として主に用いられています。これが神様の不思議なお働きでなくて何でしょうか。

神様は、これからもアガペワールドを通して、もっともっと沢山の恵の御業を見せてくださることを信じています。主を誉めたたえます。

アガペワールドの記念 すべき癒しと和解の旅 リネット・スペンサー

アガペワールドが主催した素晴らしい「心の癒しと和解の旅」の中で、かつて民間人抑留者としてビルマの収容所に入れられていた、私の両親、ダドレイとミリセント・スペンサーは多くの日本の方々とお子さんたちに会いました。皆さんは、両親の戦時中の経験話に深く興味を持ってくださいました。

父は沢山の集会で話をさせていただきました。聴衆は過去における日本人の行動を恥じていました。このことが父に感動を与えました。1942年に日本軍に捕まり、両親を含む120人が数人の日本兵に射殺されようとしていたまさにその時、現場に日本軍の隊長が到着し、彼によって両親たちは銃殺を免れたのでした。両親は祈っていたのです。

父は1943年の春に起こったもう一つの経験話をしまし

た。抑留所に入れられる前の出来事でしたが、あるクリスチャンの看守が、両親に飢えていた英軍捕虜たちに12日間食料を与えることを許可しました。その後看守が変わり、英軍捕虜に食料を与える許可を願い出た父は酷く殴られたのでした。

戦後何年も経て、戦時中父が



食料を与えた捕虜の一人、レイ・ウィルソン（83）が、英国の南（イーストボーン）に住んでいた両親に会いに来ました。レイと彼の友達は、父が捕虜を助けたので、私の両親が殺されたのではないかと心配していたのでした。メリディアンという地域のテレビ局がイーストボーンの両親の家を訪れ、両親とレイの感動的な再会を録画しました。

戦時中、捕らえられた両親を捜していた母の父親と兄弟が日本兵に殺されてしまいました。

母も「アガペの心の癒しと和解の旅」の中で、何度も話をする機会を与えられました。聞いてくださる皆さんの温かい思いやりと謝罪の心に、深く感動していました。私の両親も他の参加者同様悲惨な体験をしてきましたが、多くの聴衆の方々には戦後生まれか戦時中に生まれた方々

が多く、その方たちに

は何の罪もないと思いました。

アガペの癒しと和解の旅の間中、父は二人の日本人の友を探したいと望んでいました。その方たちが広島や長崎の原爆

を生き延びたことを願っていましたが、残念ながら見つかることができませんでした。

アガペの心の癒しと和解の旅によって、私は大きなインパクト（影響）を受けました。実は私は、JETプログラムで英語教師としてその数年前に日本で暮らしたことがあるのです。父は2014年10月25日、母は2015年11月19日にイーストボーンの家で家族に見守られながら、平穩に他界しました。アガペワールドに心から感謝します。（写真右端）

夏の英国訪問

大野キリスト教会宣教牧師・中澤啓介牧師

今夏私はオックスフォード大学の夏期講座に参加する機会が与えられ、その前後の数日間をロンドンに滞在しました。その際、恵子ホームズさんのお宅に泊めていただき、ロンドンの日本語教会やイギリス国教会の礼拝に参加し、たくさんの方と交流する機会を与えていたに日本軍に捕虜だったイギリス軍の兵キリストの愛がどれほど大きなものでそれとともに、教会に通う途中の電車の恵みを証しされる恵子さんのお



ンの方々と交流する機会を与えていたに日本軍に捕虜だったイギリス軍の兵キリストの愛がどれほど大きなものでそれとともに、教会に通う途中の電車の恵みを証しされる恵子さんのお

N. T. ライト教授の講義を受講するた学びにとどまらず、豊かな霊的祝福を恵みと喜びが、今も私の心奥深くから神様は、恵子さんという賜物豊かな婦人をお用いになって、さまざまな福音宣教の働きを進めておられます。支える会の皆様には、遠いイギリスの地で過去の日本人の罪の後始末を続けている恵子さんのお働きを支え続けると同時に、現代の多くのイギリス人や日本人に伝道を続けている恵子さんのお働きを知り、祈っていただきたいと深く思わされております。

めの旅でしたが、それが単なる知的な味わう機会となりました。そしてその溢れ出てくる経験を味わっています。

アガペワールド 2016年活動報告

小菅啓子

クリスマスの喜びと新年の希望が皆様とともにありますように。この一年も恵みの中に歩ませていただきました。感謝をもって以下の報告をさせていただきます。

恵子・ホームズは、4月27日に羽田経由で大阪に着き、教会や様々の集会で証しやメッセージ、また講演をしました。招いていただいた教会と大学：大阪：主イエス・キリスト教会日曜礼拝。横浜：愛のいずみキリスト教会日曜礼拝。東京一麦キリスト教会水曜祈禱会。横浜：本郷台キリスト教会木曜祈禱会、横浜家庭集会ラモナ宅。埼玉：ニューライフファミリーチャーチ日曜礼拝。東京都：三田慶応大学大垣ゼミ、明治大学VIP、大野キリスト教会日曜午後交わり会。北海道では札幌キリスト福音館訪問など、祝福されました。

その他AW関係者、サポーターの方々とのお交わりもあり、充実した滞在の時間を過ごしました。お招きいただきました教会、集会の皆さんに心から感謝申し上げます。

10月にも、恵子宅で恒例のパラダイス・ランチがもたれ、アルファの学びのために渡英した小菅啓子、しばらく前から恵子の家に滞在している高橋裕子医師もそこに参加することができました。Dr. 高

橋の救いの証しをきっかけに、クリスチャンたちが次々にキリストとの出会いを語りました。

11月には小菅とホームズ・恵子が田口晴恵の運転のご奉仕のもと、Denis (97歳) と娘のデニスそしてKen (96歳) を訪問しました。お二人ともとてもお元気でした。チェルシー・ロイヤル・ホスピタルにおられる元捕虜だったダグラスの訪問もできました。今回はウェールズまで旅をすることができませんでしたので、パイロン、イオナと電話で話しました。それぞれ体の弱さを抱えていますが、二人で助け合いながら仲睦まじく生活しています。以前日本に来たことのあるリネットとも何度か会い、彼女はアルファにも数回出席しとても感動していました。このように皆さんと再会でき温かな交わりの感謝なひと時を過ごしました。

また、恵子・ホームズとクレアが導いているアガペ・バイブル・フェローシップにも出席し、真由美さん、美樹さん、江里子さんと共に学ぶことができました。日本人の魂を愛し献身するクレアの姿に宣教師のスピリットを見る思いでした。2回のバイブル・スタディの他、それぞれの家族が共に集まり昼食を囲む交わりにも加えていただきました。明るく元気な4人の子どもたちを交えての心温まるひと時でした。

来年の計画の概要をお知らせします。決定では

ありませんが概ねこのような流れになると思いますので、皆様方のご予定にもお加えいただけましたら、幸いです。

7月初め、恵子はルースとグレース、孫のジョシュアと共に来日。三重県、和歌山県、関西方面、京

都？その後北海道を訪問。7月半ば過ぎにルースとグレース帰英。ルースとグレースは日本の人たちに神様の恵みを伝えたいと願っていますので、ぜひそのような機会をできるだけたくさん持ちたく、皆様のご協力をお願いいたします。 まだ未定ですが：

7月、8月	恵子、北海道？
9月1日～11日	アメリカ（オレゴン、カリフォルニア） 元日本兵の奥様をお連れして
10月27日	「心の癒しと和解の旅」一行 日本着
11月3日	紀和町 メモリアルサービス
11月9日	一行日本発
11月後半	ホームズ・恵子 帰英

今年の恵みを数えながら（♪ 数えよ、主の恵み ♪）、また、新しい年の希望に心みたされて、この年末年始をお過ごしください。

ルース：元捕虜の娘。両親が戦後宣教師として日本へ。ルースは日本で少女時代を送る。反抗的でヤクザと関係するが、危ういところをイエス・キリストによって救われる。恵子の親しい友。

グレース：ルースと恵子の友。交通事故で全身の痛みと薬漬の7年間。イエス・キリストが癒してくださると確信していた。ところがその後車椅子の生活に。医者からは全身の痛みも、歩くことも、薬からの解放も決してありえないので、病と上手に付き合うようにと宣告された。彼女は絶対癒されると医者に宣告していた。イエス・キリストは、去年、車椅子生活12年後に彼女を完全に癒された。今では彼女が祈ると多くの人が癒されている。

献金をして下さった教会：本郷台キリスト教会、
ホームチャペル・エリム、久遠キリスト教会

アガペワールド支援会（代表 小堀洋志）
195-0061 東京都町田市鶴川 1-17-9 小堀方
Tel/Fax：042-810-5481

メール：kobori531@jcom.home.ne.jp
支援金送り先：名義は「アガペワールド」支援会
*郵便振替：00180-9-679184

青色振り込用紙を用意しています。

*ゆうちょ銀行：記号10040 番号29475731
*三菱東京UFJ銀行：普通口座 鶴川支店（233）
番号0319665



Agape Bible Fellowship
のみんなで作りました。

主の御名を賛美いたします。

皆様、いつもアガペワールドのためにお祈りとご支援を心より感謝いたします。今年も1年間、守られて、支援活動が出来ました事を嬉しく思っています。私の所属する大野キリスト教会でのバザーへの出店、恵子ホームズ講演会、交わり、また、当教会、宣教牧師の中澤啓介先生がイギリスの恵子宅を訪問させていただき、良きお交わりが出来ました事も、主の恵みと感謝しております。

皆様どうぞ素敵なクリスマスと、新年をお迎え下さい。

来る、2017年が皆様にとって、素晴らしい年とまりますようにお祈りします。

アガペワールド支援会 小堀豊代子